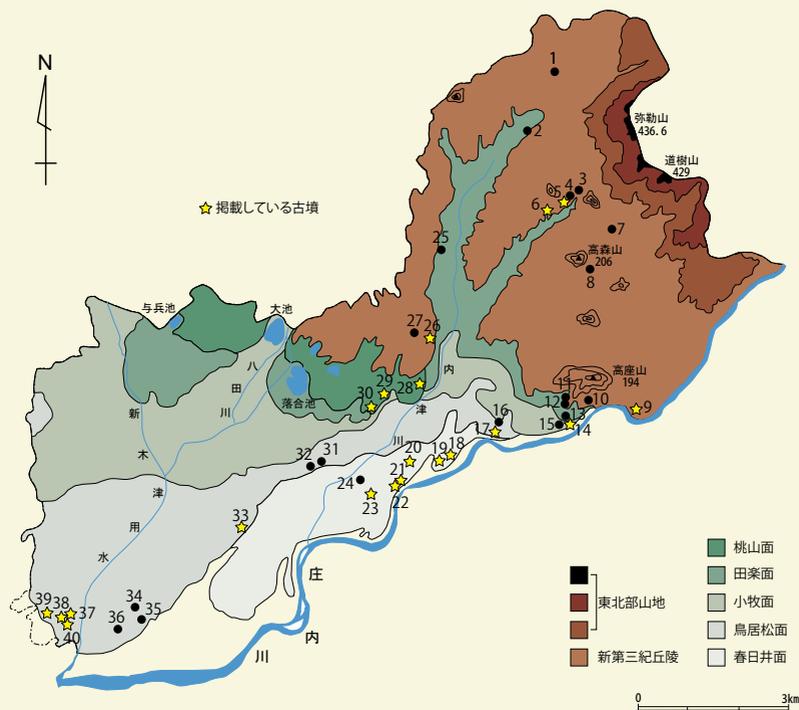


# 春日井 古墳散策マップ



市内には令和2年3月現在、約90基以上の古墳が確認され、  
現地に保存されている古墳もあります。

市内の古墳を巡って、歴史に親しんでみませんか？



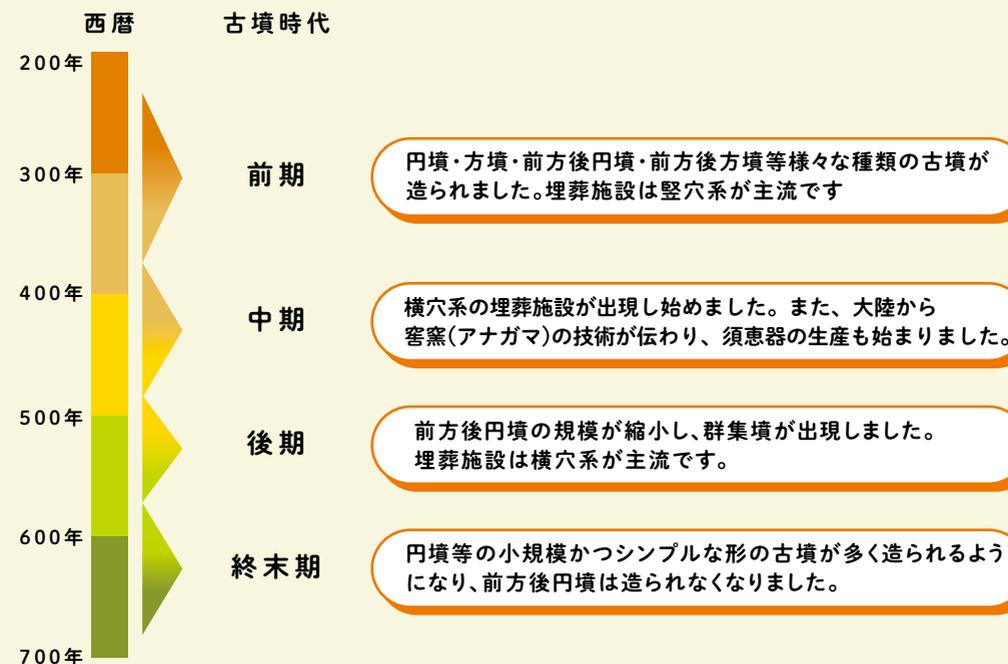
1:欠之下古墳 2:明知第1号墳 3:廻間第8号墳 4:廻間第9号墳 5:廻間第7号墳 6:廻間第1号墳  
7:大久手古墳 8:高森山古墳 9:高蔵寺第5号墳 10:高座山第1号墳 11:高座山第3号墳 12:高座山第2号墳  
13:高蔵寺第4号墳 14:高蔵寺第3号墳 15:高蔵寺第2号墳 16:大垣戸狐塚古墳 17:気噴第7号墳  
18:天王山古墳 19:親王塚古墳 20:大留荒子古墳 21:三明神社古墳 22:神領第1号墳 23:高御堂古墳  
24:堀ノ内第1号墳 25:神屋第1号墳 26:富士社古墳 27:猪之洞古墳 28:出川大塚古墳 29:オフジ古墳  
30:オセンゲ古墳 31:篠木第9号墳 32:篠木第2号墳 33:八事神明社古墳 34:笹原古墳 35:南東山古墳  
36:愛宕神社古墳 37:白山神社古墳 38:御旅所古墳 39:春日山古墳 40:二子山古墳

## 注意事項

- ・長袖、長ズボン、スニーカー等動きやすい服装で出かけましょう。
- ・へびや虫には注意してください。
- ・立ち入りが禁止されている場所や住宅地、農地などには入らないようにしてください。
- ・交通ルールを守って見学してください。
- ・石室内へは入れません。

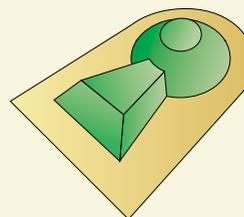
## 古墳とは？

3世紀後半～7世紀にかけて土を高く盛って築造された権力者のための墓です。  
市内の古墳からは、円筒埴輪のほか、須恵器・鉄製品等の副葬品が出土しています。

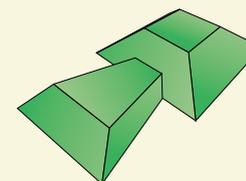


## 古墳の形

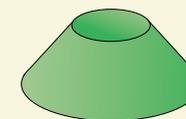
被葬者の地位や権力の大きさによって、形や規模が決められていました。  
市内では前方後円墳・前方後方墳・円墳が確認されています。



前方後円墳



前方後方墳



円墳



## 二子町周辺の古墳

標高約10～11mの段丘に複数の古墳が分布し、味美古墳群を形成しています。

### 味美古墳群とは・・・

- ・4世紀の白山藪古墳(名古屋市北区・滅失)に始まり、その後約150年の間に6基の前方後円墳(首長墓)が継続的に築造された県下でも有数の古墳群です。
- ・二子山古墳は継体天皇の真陵とされる今城塚古墳(高槻市・墳長190m)や断夫山古墳(名古屋市・墳長150m)と共通する墳丘規格が認められています。
- ・埴輪は北へ約8km地点の下原古窯跡群で生産されたと想定されています。大量生産を行うために須恵器製作技法を用いて製作された埴輪は、須恵器工人在埴輪生産に携わったことを示すものであり、このような生産体制は地域性の強い特徴と考えられます。



### 1 二子山古墳 (二子町2-11-5・6)

国指定史跡 (昭和11年)

築造時期：6世紀前葉  
 墳形：前方後円墳  
 墳長：94m  
 出土遺物：円筒埴輪・形象埴輪・須恵器

6世紀代の尾張地方では2番目の大きさを誇る市内最大の古墳です。公園設備に伴う発掘調査を平成3・4年に行い、周溝東側の溝から円筒埴輪や人物・馬等の形象埴輪、須恵器が出土しました。墳丘規格や埴輪の配列は、大阪府の今城塚古墳(継体天皇陵)との共通点が認められ、二子山古墳の被葬者を考えるうえで重要です。



### 2 白山神社古墳 (二子町2-11-3)

県指定史跡 (昭和58年)



築造時期：5世紀末～6世紀初頭  
 墳形：前方後円墳  
 墳長：84m  
 出土遺物：円筒埴輪・形象埴輪・須恵器

平成19年に発掘調査を行い、墳丘は2段築成で、前方部中段の平坦面に築造当時の位置を保持した円筒埴輪列が確認されました。また、周溝埋土からは複数種の形象埴輪片が出土しました。

### 3 御旅所古墳 (二子町2-11-2)

県指定史跡 (昭和58年)



築造時期：5世紀末～6世紀初頭  
 墳形：円墳  
 直径：31m  
 出土遺物：円筒埴輪・形象埴輪・須恵器

昭和50年に発掘調査を行い、墳丘は2段築成で、墳丘中段の平坦面に築造当時の位置を保持した円筒埴輪列が確認されました。

### 4 春日山古墳 (中新町2-20-2)

築造時期：6世紀中～後葉  
 墳形：前方後円墳  
 墳長：72m  
 出土遺物：不明

二子山古墳に後続すると推定され、現在は春日山公園内に保存されています。かつて巨石が掘り出され白山神社に運ばれたという記録があり、埋葬施設は横穴式石室の可能性が考えられます。



# 神領駅周辺の古墳

標高約25～43mの庄内川の自然堤防や段丘に立地しています。北東から南西へ緩やかに傾斜する地形を形成しています。

## ◎ 神領銅鐸出土地 (神領町1-12)

銅鐸とは、弥生時代に製作・使用された釣鐘状の青銅器で、農耕祭祀に使用されたと考えられます。

安政5(1858)年に2点の銅鐸が入れ子状に出土し、そのうち1点は現在、神領区が所有しています。

※一般公開していません。



## 1 高御堂古墳 (堀ノ内町5-11-1)

築造時期：4世紀前葉  
墳形：前方後方墳  
墳長：約63m  
出土遺物：壺形埴輪



市内で最も古い古墳の1つで、唯一の前方後方墳です。平成2年以降、8次に亘る発掘調査を行い、墳丘は3段築成で、葺石や赤彩された壺形埴輪片が出土しました。後方で竪穴式石槨が確認されましたが、内部は未調査のため、副葬品は不明です。

## 2 神領第1号墳 (神領町1-26-1)



築造時期：7世紀後葉  
墳形：円墳か  
直径：15m前後  
出土遺物：土師器・須恵器

平成2・26年に発掘調査を行い、横穴式石室が確認されています。石室内から土師器・須恵器が出土しました。現在は埋め戻され、地中に保存されています。

## 3 三明神社古墳 (神領町1-26-2)



築造時期：不明  
墳形：円墳  
直径：20m  
出土遺物：不明

墳丘の南側の斜面には三明神社社殿が建てられています。平成14年に測量を行い、聞き取り調査から埋葬施設は横穴式石室と考えられます。

## 4 大留荒子古墳 (大留町1-16-1)



築造時期：7世紀前半  
墳形：円墳  
直径：約10m  
出土遺物：須恵器・鉄製品(直刀・鉄鏃)・金環

昭和63年に発掘調査を行い、表面には葺石が葺かれ、真南からやや西に開口した横穴式石室が確認されました。元々は現在地から北西約200mの場所に所在し、現在は荒子公園内(大留町1-9)に移設保存されています。

## 5 親王塚古墳 (大留町5-27-5)



築造時期：6世紀中葉～後葉  
墳形：円墳  
直径：約15m  
出土遺物：須恵器・鉄製品(鉄鏃・刀子)  
・金環・人骨

昭和44年に発掘調査を行い、横穴式石室が確認され、金環が複数出土していることから被葬者は2名以上と推定されます。現在は神明神社境内に復元保存されています。

## 6 天王山古墳 (大留町6-13-4)



築造時期：4世紀後半  
墳形：円墳  
直径：約34m  
出土遺物：壺形埴輪

平成16・17・22年に発掘調査を行い、墳丘は3段築成で、葺石や周溝が確認されました。段築平坦面には赤彩を施した壺形埴輪が数m間隔で並べられていたと推定されます。壺形埴輪から高御堂古墳に後続する古墳と推定されます。

## 7 気噴第7号墳 (気噴町5-13)



築造時期：7世紀  
墳形：円墳  
直径：12m  
出土遺物：土師器・須恵器

平成19年に発掘調査を行い、横穴式石室のほか、葺石と周溝が確認されました。墳頂部からは土師器・須恵器が出土しており、墳頂部分で祭祀が行われた可能性が考えられます。

# 県道内津勝川線周辺の古墳

標高約24～86mの段丘や丘陵に立地しています。北東から南西へ緩やかに傾斜する地形を形成しています。



## 1 八事神明社古墳

(八事町2-55)

築造時期：不明  
墳形：円墳  
直径：30m  
出土遺物：円筒埴輪



墳丘の上には神明社が建てられています。平成9年に測量を行いました。葺石等は確認されいません。かつて土師質の円筒埴輪片が採集されたとの記録があります。

## 2 オセンゲ古墳

(大泉寺町字山畑1038)

築造時期：不明  
墳形：円墳  
直径：約42m  
出土遺物：須恵器



平成4年に発掘調査を行い、墳丘は2段築成で、全体に葺石が施されていることが確認されました。墳丘規模や築造様式が近似する出川大塚古墳(滅失)が同一丘陵上の北東方向に所在していました。

## 3 オフジ古墳

(大泉寺町字山畑1010)

築造時期：不明  
墳形：円墳  
直径：18m  
出土遺物：不明



平成14年に測量を行いました。段築や周溝、葺石は未確認であり、埴輪も出土していません。北城老人憩いの家に隣接して所在しています。

## 4 富士社古墳

(東神明町706-1)

築造時期：不明  
墳形：円墳  
直径：40m  
出土遺物：不明



墳丘の上には富士社が建てられています。平成9年に測量を行いました。葺石や埴輪といった古墳に関連する遺物や周溝は確認されません。

## ◎ 出川大塚古墳 (滅失)

(不二ガ丘3-100-10)

築造時期：4世紀後半  
墳形：円墳  
直径：45m



出土遺物：三角縁神獸鏡(2面)・擬銘帯四神  
四獣鏡・振文鏡・勾玉・管玉・石釧

明治33・35年の土取りの際に多くの遺物が発見されたとの記録があります。昭和37年に測量を行い、墳丘は2段築成で、葺石が施されていたことが確認されました。出土品は現在、東京国立博物館に保管されています。

## 高蔵寺駅周辺の古墳

標高約50m前後の庄内川の河岸段丘に古墳が分布しています。



※高蔵寺第1・2・4・6・7号墳は滅失

### 1 高蔵寺第3号墳 (高蔵寺町6-2-6)



築造時期:7世紀初頭  
墳形:円墳  
直径:約15m  
出土遺物:須恵器

昭和47年に発掘調査を行い、南西に開口した横穴式石室が確認されました。石室内から須恵器が出土しており、7世紀初頭の築造と考えられます。

### 2 高蔵寺第5号墳 (玉野町字塚本448)



築造時期:7世紀初頭  
墳形:円墳  
直径:不明  
出土遺物:須恵器・鉄製品  
(直刀・刀子・馬具・鉄鏃)・金環

昭和47年に発掘調査を行い、南西に開口した横穴式石室が確認されました。遺物の出土状況から複数回の追葬が行われたと考えられます。

## 廻間町の古墳

標高約100~117mの丘陵の斜面や谷地形部分に古墳が分布しています。



※廻間第2~6号墳は滅失  
※廻間第8・9号墳は現存していますが見学できません

### 1 廻間第1号墳 (廻間町字高森1090)



築造時期:7世紀前葉  
墳形:円墳  
直径:約15m  
出土遺物:須恵器

昭和44年に発掘調査を行い、横穴式石室が確認されました。石室内から須恵器が出土しており、7世紀前葉の築造と考えられます。

### 2 廻間第7号墳 (廻間町字高森1106-16)



築造時期:7世紀初頭  
墳形:円墳  
直径:約10~15m  
出土遺物:須恵器・鉄製品(刀子)・金環・韃の羽口

昭和52年に発掘調査を行い、横穴式石室が確認され、石室内から須恵器・鉄製品・金環・韃(フイゴ)が出土しました。横穴式石室の型式から廻間第7号墳→廻間第1号墳の順に築造されたと考えられます。

# 民俗考古展示室・ 森浩一文庫

(春日井市柏原町 1-97-1 春日井市立中央公民館内)



## 民俗展示室

「農村の暮らし」・「大正～昭和」・「昭和40年代の暮らし」を主要テーマとし、日常生活の中で使用されたなつかしの道具や昭和40年代のニュータウン(藤山台)の台所を再現したコーナーもあります。



## 考古展示室

「弥生時代の暮らし」・「下原古窯と二子山古墳」・「古代の手工業」を主要テーマとし、発掘調査で出土した土器や石器・埴輪のほか、古墳時代の窯の模型や神領で発見された銅鐸(複製品)などを展示しています。



## 森浩一文庫

考古学者・故 森浩一氏から寄贈を受けた蔵書約25,000冊を収蔵し、公開しています。森浩一氏の著作や一般の図書館にはない希少本も数多く、調査や研究にご利用いただけます。  
※貸出は行っていません。

開館時間

午前9時から午後4時30分

入場料

無料

休館日

月曜日(祝休日の場合も休み)・年末年始(12月29日～1月3日)

## 春日井市教育委員会 文化財課

春日井市柏原町1-97-1(春日井市立中央公民館内)

TEL:0568-33-1113 FAX:0568-34-6484 E-mail:bunkazai@city.kasugai.lg.jp

令和2年3月31日 発行